

背景

私立幼稚園・認定こども園における質の高い人材の確保は、幼児教育の実践の観点から重要と考える。また、働きがいの向上による人材定着も課題である。前年度まで継続して実施してきた人材確保関係の事業内容・結果をふまえ、私立幼稚園・認定こども園の人材確保に効果的な事業を実施する。

調査研究課題	主な取り組み内容	成果と課題
1. 養成・採用の強化及び魅力発信(幼児教育施設への就職希望者を増やす)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①「就職フェア直前セミナー～採用イベントで成果を出すための7つの視点～」 ②「差別化の具体的な手法～差別化4つのステップ」 ・県内教員養成校との懇談会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 協議 ①人材確保事業について、②幼児教育センター及びキャリアアップの動向、③教育実習について、④令和の日本型学校教育について 報告 ①教員養成校における学生の就職状況について、②加盟園における採用募集状況について、③加盟園における採用実績について ・合同説明会(対面形式(7月27日(水))並びにWEB形式)の実施 <ul style="list-style-type: none"> 対面 ①学生向け就活講座、②ワークショップ、③ブース出展園情報提供、④個別相談ブース開放、⑤(高校生向け)現役教諭によるパネルディスカッションとPR動画視聴・VR園見学体験(実施した一部はリアルタイム配信、オンデマンド配信) WEB ①協会加盟園最新情報の提供(園概要、求人情報、園見学、高校生インターンシップ、園紹介動画等を掲載)、②PV、③オンライン相談会 ④新潟県担当部局と連携し合同説明会・求人情報相互リンク、⑤対面形式合同説明会参加予約システムの構築 ・合同説明会開催周知方法:県内及び県外(関東圏中心)養成校へチラシ・ポスターを配布。大学(関東圏中心)教授宛てに直接情報提供。 ・高校生PRチラシを県内高等学校へ配布(配布時は県担当部局と連携) 	<ul style="list-style-type: none"> * 受講者アンケート結果によると、研修①の内容は95.2%が「満足」、「まあ満足」、研修②の内容は回答者全員が「満足」、「まあ満足」と回答。 ・課題 養成校や保育者を目指す学生が少ない過疎地域における園のアピール方法や人材確保の方策等について検討が必要。 * 合同説明会参加者アンケートによると、合同説明会開催を学校(チラシ、ポスター)と回答。懇談会を通して養成校担当者に直接周知することと学生の参加を要請することは有効であった。 * コロナ禍での教育実習先の確保が困難という養成校側の意見を受け、養成校には実習予定時期とその内容を、園には受入可能時期を調査し、それぞれの結果は懇談会で情報共有した。実習受入のミスマッチが解消され養成の強化につながる期待がある。 ・課題 高校生や県外学生の参加を考慮し夏休み期間に合同説明会開催日を設定したが、養成校側へのアンケート結果によると試験期間や授業等と重なったという意見が多かった。また開催会場についても意見があったので、開催時期、会場、開催形式や開催規模について検討が必要。 * 合同説明会参加者(対面)アンケートによると、合同説明会の内容について、回答者全員が「参考になった」と回答。養成校アンケートによれば対面形式に参加して初めて感じることも多いという意見があった。 * 高校生インターンシップの申込みをWEB説明会サイトから直接出来るように設定し16件の申込みがあった。また、対面形式の合同説明会では高校生向けイベントを企画し、5名の高校生が参加した。高校生向けチラシを継続して配布しPRした効果であり、養成の強化及び魅力発信につながったものと期待する。 * 対面形式の合同説明会に参加ができない希望者に対し、リアルタイム並びにオンデマンドでの配信を行った。感染リスクを避け、開催日の都合や移動時間、距離等に関わらず参加できる機会を増やした。5段階評価(5:満足～1:不満)による参加者アンケート結果は5(満足)～3で、2や1(不満)と回答したものはなかった。 * WEB合同説明会参加者より採用につながった実績が3園あった。いずれも対面形式の合同説明会にブースを出展した園であったが継続してWEB形式の合同説明会を実施した効果が表れた。 ・課題 県外の養成校に通う学生や再就職を希望する離職者の採用強化並びに中高校生への魅力発信の活動をより良いものとするため学生らが求める内容並びに発信する方法や手段等について調査等が必要。
2. 離職防止・定着促進(働き方改革)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①「ICT導入に向けた説明」 	<ul style="list-style-type: none"> * 受講者アンケート結果によると、研修内容は83.3%が「満足」、「まあ満足」と回答。複数のICT業者から各社のシステムの説明を一度に受け比較できたことでイメージがつかみやすくICT化へのきっかけができた。 ・課題 説明するICT業者個人のプレゼン能力による差異が生じないよう質問事項や資料の様式を工夫する。
2. 離職防止・定着促進(働き方改革)、3. 教員等の資質・能力向上(キャリアアップ)【共通】	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①「キャリアパスにおける新たな試みとその効果」 ②「令和3年度キャリアパス導入園における取組について」 ・キャリアパス制度導入の促進、キャリアパス導入園への運用支援 <ul style="list-style-type: none"> 調査協力2園において園の実情にあわせて導入実施(講師による運用支援) ①講師による講演(研修)、②ドキュメンテーションの作成、③保育者間での話し合いと共有、講師によるアドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> * 受講者アンケート結果によると、研修内容は85.7%が「満足」、「まあ満足」と回答。また、園の取り組みに役立つと思うかについて、回答者全員が「とても思う」、「思う」と回答。講師による講演と実施園による具体的な取組方法・成果を発表したことで、取り組みへのきっかけ作りや意欲を増やすことができた。 ・課題 さらなる加盟園での導入を普及させるため大学教授のほかキャリアパス制度導入実施園の教職員の派遣など支援方法について検討が必要。 * キャリアパス制度導入(講師による運用支援)について、加盟園に対し参加を募ったところ、新たに2園より申出があり調査研究を行った。新たな園における取り組み事例を作成することができた。 * 子どもの親方が広がったりよりよい同僚性が育まれることで、保育者のやりがいや自信につながった。 ・課題 保育の質の向上ややりがいを持続可能なものにしていくための仕組み作りについて検討が必要。
3. 教員等の資質・能力向上、4. (新潟県幼児教育センターとの連携)【共通】	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 「新潟県幼児教育センターについて」 	<ul style="list-style-type: none"> * 受講者アンケート結果によると、研修内容は91.7%が「満足」、「まあ満足」と回答。今年度新たに設置された新潟県幼児教育センターの設置経緯、新潟県幼児教育推進体制や新潟県幼児教育センターの事業内容について広く知ること並びに加盟園への周知ができた。 ・課題 各園における保育者の人材育成指標及び園内研修に係る研修計画の作成等幼児教育センターが実施する事業に対し、各園での活用事例を収集・情報共有し資質能力向上につながるよう検討が必要。